

(令和7年7月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	7月は、6月に気温の高い日が続き、降水量がかなり少なかった影響で、生育が悪くなった品目があった一方で、例年より早期に気温が上がったことにより、成長・出荷が早まった品目もあり、全体として総入荷量は前年同月比で5%上回り、総取扱金額は前年同月比で4%上回った。今後は、葉菜類や果菜類では高温障害の影響が懸念され、引き続き不安定な入荷となることが予想される。 8月は、野菜では、枝豆やとうもろこしが最盛期を迎える。果実では、ぶどう類の入荷が増え、りんごやなし類の入荷が始まる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月並みであり、単価も前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は18%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は3%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で9%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は31%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で25%上回り、単価は7%下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は11%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で4%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 もも類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は19%上回った。 ぶどう類の入荷量は前年同月比で15%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で9%上回ったが、品質が良く単価は8%上回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で26%上回ったが、猛暑により需要が高まり単価は13%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	北海道を中心に、青森などからも入荷した。入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は26%上回った。
西洋にんじん	青森、北海道、和歌山、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で26%下回り、単価は12%上回った。
【葉菜類】 はくさい	長野を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で13%上回り、単価は9%下回った。
キャベツ	群馬を中心に、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で15%上回ったが、単価は前年同月並みであった。
ほうれんそう	岐阜を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は9%上回った。
レタス	長野を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は前年同月並みであった。
【果菜類】 きゅうり	愛媛、京都、福島、長野を中心に、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で17%上回り、単価は19%下回った。
なす	京都を中心に、徳島、群馬、高知、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は5%下回った。

とまと	北海道を中心に、岐阜などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6 %上回ったが、気温上昇に伴い需要が増加し、単価は3 %上回った。
ピーマン	大分を中心に、兵庫、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8 %上回ったが、全国的には数量不足で推移し、単価は15 %上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メークイン含む)	長崎、千葉、北海道、茨城、静岡などから入荷した。入荷量は前年同月比で3 %上回り、単価は58 %下回った。
たまねぎ	兵庫を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で7 %上回り、単価は32 %下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は8%上回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で36%下回り、単価は15%上回った。
もも	山梨を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は18%上回った。
巨峰	福岡を中心に入荷した。入荷量は高温の影響で6月分の出荷が遅れたこともあり、前年同月比で38%上回ったが、単価は競合品目の入荷量が少なく、需要が高まり3%上回った。
アールスメロン	京都、静岡を中心に、茨城、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は26%上回った。
大玉すいか	山形、鳥取を中心に、長野、石川、京都などからも入荷した。高温により生育が早まり入荷量は前年同月比で28%上回ったが、単価は猛暑により需要が高まり14%上回った。